

千葉大学

<千葉大学 傾向と対策>

千葉大の英語出題内容と対策 (100~300点) 試験時間 90分

細かい傾向変化があり注意が必要だが、基本は「読解力と記述力」+取りこぼしのない基礎力。

設問 問題	I 長文読解	II 長文読解	III
設問内容 2016	和訳×3 日本語説明×3 書き換え空所補充 要約文空所補充(マ)×10	和訳×2 日本語説明×2 整序問題 本文関連長文空所補充×8	物語長文読解 長文空所補充 (英文記述=作文)
2015	和訳×2 日本語説明×3 整序問題 要約文空所補充(マ)×8	和訳 日本語説明×5	小問2題 A) 語彙指定書き換え×5 B) 長文空所補充(1~3語)
2014	和訳×2 日本語説明×3 英文抜き出し	和訳×2 日本語説明 空所補充(1語) 整序問題 要約文選択	英作文 英語長文中の日本語作文×4
2013	和訳×3 日本語説明・指示語指摘×3 整序問題 登場人物を英語で	空所補充(マ)×2 空所補充(1語) 和訳×3 要約文空所補充(マ)×6 日本語説明・指示語	英作文 英語長文中の日本語作文×4

設問	I	II	III
問題	長文読解	長文読解	
2012	和訳×2 日本語内容×5	和訳 日本語説明×3 要約文空所補充(単語)×8	<u>英作文</u> A) 比較構文×3 B) 長文空所補充: 短文×4
2011	日本語内容×5	和訳×2 日本語説明×4	<u>和文英訳: 日本語 4 行(京大型)</u>
2010	和訳×2 日本語説明 英語抜き出し(1語・3語) 空所補充(マ)×1 要約文空所補充(マ)×4 下線部文意選択問題	日本語説明×5 和訳 空所補充(マ)×1 要約文空所補充(マ)×4	<u>英作文</u> A) 長文空所補充: 短文×5 B) 整序問題×4
2009	和訳 日本語説明×2 英語抜き出し(1語・4語)	日本語説明×7	<u>英作文</u> A) 会話文空所補充×4 B) 短文空所補充: 英作1・補充1
2008	日本語説明×7 要約文空所補充(マ)×10	日本語説明×6	<u>英作文</u> 海外の人に日本の電車の利用法を伝える英文の空所補充英作文×4
2007	和訳×2 日本語説明×2 / 該当箇所指摘×1 タイトル選択(マ) 長文空所補充(4語)	和訳 日本語説明×4 動詞変形×2 英語言い換え	<u>英作文</u> 物語英文空所補充型×3

【千葉大学合格へのカギ】

英語の重みは各学部で異なるが、医学部や薬学部などのハイレベルな学部を除けば、このレベルで高得点出来る学生なら千葉大以上を志望していると思われるので高得点を狙うのではなく、確実に半分以上取れる学力をつけたい。右の資料は千葉大発表の合格者の得点データだが、千葉大に限らず、入試戦略の基本資料となるので国公立大志望の生徒は是非参考にして貰いたい。センター試験と個別試験で分けたデータを発表してくれていないが、センターボーダーなどは各予備校発信のデータで想定しておくといよい。例えば、文学部・人文学科・行動科学コースの場合、セ 450 + 個別 550 (2016)。センターでボーダーなら 325 点 (72%) 程度。合格最低点の 612 点まで 287/550 点ということになる。英国各 200、数 150 が個別の配点だが、3 科目均等なら 52% 程度が目標点。記号問題を確実に取り、記述問題で白紙ではなく部分点をかき集められれば、難しいハードルではない。また、センターで 8 割取ってリードすれば、

平成28年度一般入試合格者の平均点, 最高点, 最低点

前期日程							
学部名	学科名	配点	合格者数	合格者の 最高点	合格者の 最低点	合格者の 平均点	
国際教養学部	国際教養学科(通常型)	1350	90	1048	841	888	
	国際教養学科(特色型)	1350	10	1056	809	953	
文学部	人文学科 行動科学コース	1000	53	742	612	645	
	歴史学コース	1050	26	844	698	741	
	日本・ユーラシア文化コース	1050	32	771	660	695	
	国際言語文化学コース	1000	29	765	635	678	
法政経学部	法政経学科	1250	346	887	699	751	
教育学部	小学校教員養成課程 国語科、社会科、算数科、理科、家庭科、教育学、教育心理学、ものづくり・技術、小学校英語選修	750	179	596	464	496	
	音楽科選修	750	9	合格者が10名未満のため開示しません			
	図画工作科選修	750	10	525	485	497	
	体育科選修	750	13	539	473	507	
	中学校教員養成課程	国語科教育分野	900	9	合格者が10名未満のため開示しません		
		社会科教育分野	900	8	合格者が10名未満のため開示しません		
		数学科教育分野	900	9	合格者が10名未満のため開示しません		
		理科教育分野	900	10	691	588	622
		音楽科教育分野	1050	5	合格者が10名未満のため開示しません		
		美術科教育分野	1050	5	合格者が10名未満のため開示しません		
		保健体育科教育分野	1050	8	合格者が10名未満のため開示しません		
		技術科教育分野	1050	5	合格者が10名未満のため開示しません		
	家庭科教育分野	900	5	合格者が10名未満のため開示しません			
	英語科教育分野	900	7	合格者が10名未満のため開示しません			
特別支援教育教員養成課程	750	15	515	439	466		
幼稚園教員養成課程	750	16	546	492	512		
養護教諭養成課程	900	25	710	587	630		
理学部	数学・情報数理学科	850	32	643	488	533	
	物理学科	950	25	729	600	643	
	化学科	925	36	705	594	619	
	生物学科	1000	31	801	663	701	
	地球科学科	800	33	591	492	518	
工学部	建築学科	1350	54	892	749	797	
	都市環境システム学科	1350	37	958	738	805	
	デザイン学科	1350	47	915	705	766	
	機械工学科	1350	59	943	786	847	
	メディカルシステム工学科	1350	33	902	725	775	
	電気電子工学科	1350	61	971	732	788	
	ナノサイエンス学科	1350	27	838	732	774	
	共生応用化学科	1350	78	907	734	791	
	画像科学科	1350	37	816	633	694	
	情報画像学科	1350	65	915	714	769	
園芸学部	園芸学科	1350	49	932	781	820	
	応用生命化学科	1350	24	956	833	878	
	緑地環境学科	1350	45	1077	754	824	
	食料資源経済学科	1350	20	980	783	839	
医学部	医学科	1450	103	1198	1014	1069	
薬学部	薬学科	850	66	720	592	625	
看護学部	看護学科	1150	53	904	762	806	

※この集計は当初合格者のみを対象としており、追加合格者は含まない。

※得点は小数点以下四捨五入している。

252/550 点つまり、46%で合格。 高得点は必要ないということ。もちろん、個別でも高得点出来る学力が望ましいが、**千葉大合格の鍵はズバリ、センターの攻略**だと言える。個別重視にシフトしたと言っても、個別試験では上位組は東大・一橋・早慶に回ることが多いし、GMARCH が取ればそれで受験しなくなる学生も一定数はいる。相手は強くないので、個別でガツツリ取るタイプとの競争にはなりにくい。まずはセンター試験で高得点出来るオールラウンドな学力をしっかりとつけておきたい。**医学部の場合にはセンター高得点（90%）でも個別で60%以上の得点力がないと厳しくなる（面接含む）。** 個別試験問題はハイレベルという訳ではないが、採点基準次第の記述が多いのでリスクが大きい。センターで9割を超え、個別では苦手科目を作らず全ての科目で6割を超えることを目標にしたバランスが必要。薬学部でも合格者最低点の低さを見ると二次の記述で志願者がそれほど得点を取れていないことが分かる。特に個別では化学の配点が若干低いので英数に自信があるタイプでないと苦しい。センターの比率が高いので、センターで80%程度しか取れないと個別で医学部生並みの得点力が要求される。**薬学部はセンターで勝負が決まる**と考えてよいだろう（2016年にセンター失敗で後期合格したような共立生の逆転劇はミラクル。普通は無理。）

【千葉大学英語攻略のカギ】

英語は多少傾向変化があるものの、「日本語による記述問題中心」であることに変わりはない。**模擬試験で言うと河合塾全統記述模試で高得点取れる学力**が望ましい。文法問題なども出ない訳ではないが、私大のように意地悪ではないので標準的な学力があれば十分得点源に出来る。イメージとしては

<確実に満点取りたい分野> 整序問題 要約空所補充（マ） 短文完成 単語抜き出し など

<解答の根拠 ⇒ 最低限の答案> 和訳問題 日本語説明問題 など

となる。記号問題の得点力を安定させ、記述部分でどうツボを外さない答案を書けるかで決まる。数学もそれほど難しい問題ではなく 60%~80%の得点は可能とのことなので、英数理のバランスのよい安定した得点力をつけていこう。英語が得意な学生であれば70%を越えて少しでも貯金しておきたい。